

補助金調査・評価シート [制度的補助]

補助金名等							
補助金の名称	地域特産物産業化促進事業補助金			No.	55		
予算事業名	農業生産支援事業						
予算科目	款	06農林水産業費	項	01農業費	目	03農業振興費	
	節	19負担金補助及び交付金	細々節	01農業生産支援等補助金（地域特産物産業化促進事業補助金）			
部課名	まちづくり環境部産業振興課		電話番号	049-251-2711		内線	253

補助金の根拠			
根拠条例等	条例		
	規則	富士見市農林水産振興事業補助金等の交付手続等に関する規則	
	要綱		
	その他		
開始年度	平成 14 年度	終期の設定	<input type="checkbox"/> 有(年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 無
補助金の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費補助	<input type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> イベント等補助
	<input type="checkbox"/> 投資的補助	<input type="checkbox"/> 扶助費的補助	

補助金の概要	
目的 (何を対象にどのような成果を得たいのか。)	地元農産物を利用した加工食品などの開発や販売促進を支援し、農業・商業の活性化に資することを目的とする。
導入の経緯 (どうしてこの補助制度を導入しなければならなかったのか。)	富士見市地区酒販組合が市制30周年記念として市内で生産している米（朝の光）を使用した清酒「縄文海進」を製造販売し、米の消費拡大と市内産業のPRを行ったことを契機に、これを支援していくため、本補助制度を導入した。
対象資格 (対象資格はどのようなものか。)	農産物の流通の合理化、加工、貯蔵及び需要の増進に関する事業を行う団体
交付内容等 (どのような基準で交付しているのか。また、交付時の確認資料はどのようなものか。)	補助金額…定額補助（80千円） 交付時の確認資料…実績報告書（収支決算書、請求明細書、領収証の写し、経費明細）
積算基礎 (予算額をどのように積算しているのか。)	平成22年度予算額 80 千円 平成19年度以降の定額補助額を80千円としているため、その額で積算

補助割合等	
補助割合等の明示	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 定額) <input type="checkbox"/> 無 (「予算の範囲」のみの場合を含む。)
財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 国・県・市 <input type="checkbox"/> 国・市 <input type="checkbox"/> 県・市 割合 市 国 県 (分数表示)
上乗せ・横出し	<input type="checkbox"/> 国・県の基準よりも拡充して交付している <input type="checkbox"/> していない
上乗せ・横出しがある場合の内容と金額	

交付実績とコスト		(単位:件・円)		
項目	平成20年度(決算)	平成21年度(決算見込)	平成22年度(予算)	
交付(見込)件数	1件	1件	1件	
交付(見込)件数の増減要因		-	-	
決算(予算)額(A)	80,000	80,000	80,000	
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	80,000	80,000	
概算人件費(B)	7,890	7,915	7,912	
概算補助事業費(A+B)	87,890	87,915	87,912	
実績報告の確認(実績報告書受理時の確認資料は、どのようなものか。)	実績報告時に次の書類を提出させている。 ①収支決算書 ②請求明細書 ③領収証の写し ④経費明細			

事業環境等	
見直しの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (19 年度) <input type="checkbox"/> 無 ※ 5年以内の見直しに限ります。
有⇒見直し内容 無⇒見直さない理由	平成19年度から定額補助額の変更 ※平成18年度以前10万円⇒平成19年度以後8万円

廃止した場合の問題点 <small>(廃止した場合の問題点や継続しなければならぬ理由など)</small>	現状を維持するのであれば廃止することに問題はないが、農業・商業の活性化の手段として、新たなものを開発していくためには、行政の支援を継続していく必要がある。
--	---

評価			
評価項目		判断理由	評価
必要性	社会経済情勢に合致し、行政の実施が望ましいか	市内産業の活性化のためにも、行政が支援をすることは望ましい。	<input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> そうでもない
優先性	厳しい財政状況の中で優先的に実施すべきか	厳しい財政状況ですが、節減だけでは進歩がないので、40周年に向けての取組みを実施すべきである。	<input checked="" type="checkbox"/> 優先すべき <input type="checkbox"/> 優先度が低い
有効性	目的に対して成果が出ているのか	「縄文海進」は市の広報やホームページに掲載するほか、一般紙にも掲載され認知度は高く、成果は出ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 成果が出ている <input type="checkbox"/> あまり出ていない
継続性	現状のまま継続して、当初の導入目的を達成できるか	「縄文海進」の実績を踏まえると、本補助を継続することで導入目的を達成できると考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できる <input type="checkbox"/> 達成できない
所属長評価	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上継続 <input type="checkbox"/> 重点化する（コストを集中的に投入したい） <input type="checkbox"/> 廃止（ 年度まで） <input checked="" type="checkbox"/> 制度の変更（補助対象経費・補助率の変更）		
	見直しの上継続を選択した場合には、その内容を記入してください。 その他問題点・課題等があれば、その内容を記入してください。		
	富士見の特産品として認知度も上がっているため、本来であれば継続していきたい事業であるが、原料である「朝の光」の種が平成23年度をもって販売終了となり、継続は難しいと考える。別の品種で、新たなブランドを考えるのか、まったく別の特産品を模索していくのか、いずれにしても、市政40周年にあわせ検討していきたい。		